

(様式3)

## 公共事業再評価調書

番 号	道路-4		事業担当局課	道路局 建設課				
事業名	都市計画道路環状3号線(南戸塚地区 外2)			採択年度	S62			
施工場所	戸塚区戸塚町～汲沢町			経過年数	27年			
目的及び 事業概要	<p>目的</p> <p>環状3号線は、本市の幹線道路網の骨格となる環状道路の一つに位置付けられており、磯子区杉田5丁目から都筑区佐江戸町までの延長約28kmの重要な幹線道路です。本地区は、環状3号線と国道1号を接続する役割を持ち、本地区の完成により本市南部地域と湘南方面の連絡が強化され、交通利便性の向上が図られるとともに、交通の転換により周辺地域の住環境向上が図られます。</p> <p>なお、本事業は再評価を平成15、16、19年度まで3地区ごとに実施し、20年度より3地区合同で実施しています。</p> <p>事業概要</p> <p>本線:計画延長2,030m、幅員22m(往復4車線)</p> <p>接続ランプ:計画延長610m、幅員12.5m(往復2車線)、用地面積59,684㎡</p>							
			当初(事業採択時)	変更(平成24年度)				
	事業期間		昭和62年度～平成27年度		昭和62年度～平成29年度			
	事業費	合計		23,455百万円		26,011百万円		
		国費		11,728百万円		13,006百万円		
		市費		11,727百万円		13,005百万円		
	変更内容		事業実施段階で詳細に検討した結果、事業費が増加しました。また、用地交渉が難航しているため、事業に多くの時間を要しているため、事業期間を変更しました。					
	上位計画等の位置付け		本市の「中期4か年計画」において、「基本政策 施策27 交通ネットワークの充実による都市基盤の強化」として、都市計画道路の整備が位置付けられています。また、本市の減災対策として今年度策定された「横浜市地震防災戦略」においても、「緊急輸送路等の整備」として、幹線道路の整備が位置付けられています。					
	関連事業		特になし					
	事業の 必要性	事業を巡る社会経済情勢等の変化		東日本大震災の発生により、緊急輸送路の整備が急がれており、特に環状3号線の整備により磯子区の国道16号から国道1号までの本市南部地域の交通機能の強化が期待されることから、本事業の必要性が高まっています。				
事業の投資効果		事業全体		残事業				
		割引率		4%(2%)				
		総便益(B)		647億円(998億円)		302億円(465億円)		
		総費用(C)		342億円(253億円)		57億円(58億円)		
		費用便益比(B/C)		1.9(3.9)		5.3(8.0)		
		感度分析 [交通量-10%]		1.0(2.0)		1.7(2.5)		
		〔その他特記事項〕						
B/Cの算定にない事業効果		これまで住宅地域に入り込んでいた通過交通を適切に本路線へ転換させることができ、住宅地域の生活環境が向上するとともに、国道16号から国道1号までの本市南部地域の交通機能の強化されるとともに、災害時の緊急輸送路としての効果が期待できます。						
残事業の内容		残事業として西側1,790mの用地取得と整備があります。本事業で国道1号への接続することで、本市南部地域の交通機能が強化され、これまでの事業効果を最大限に発揮することができます。						

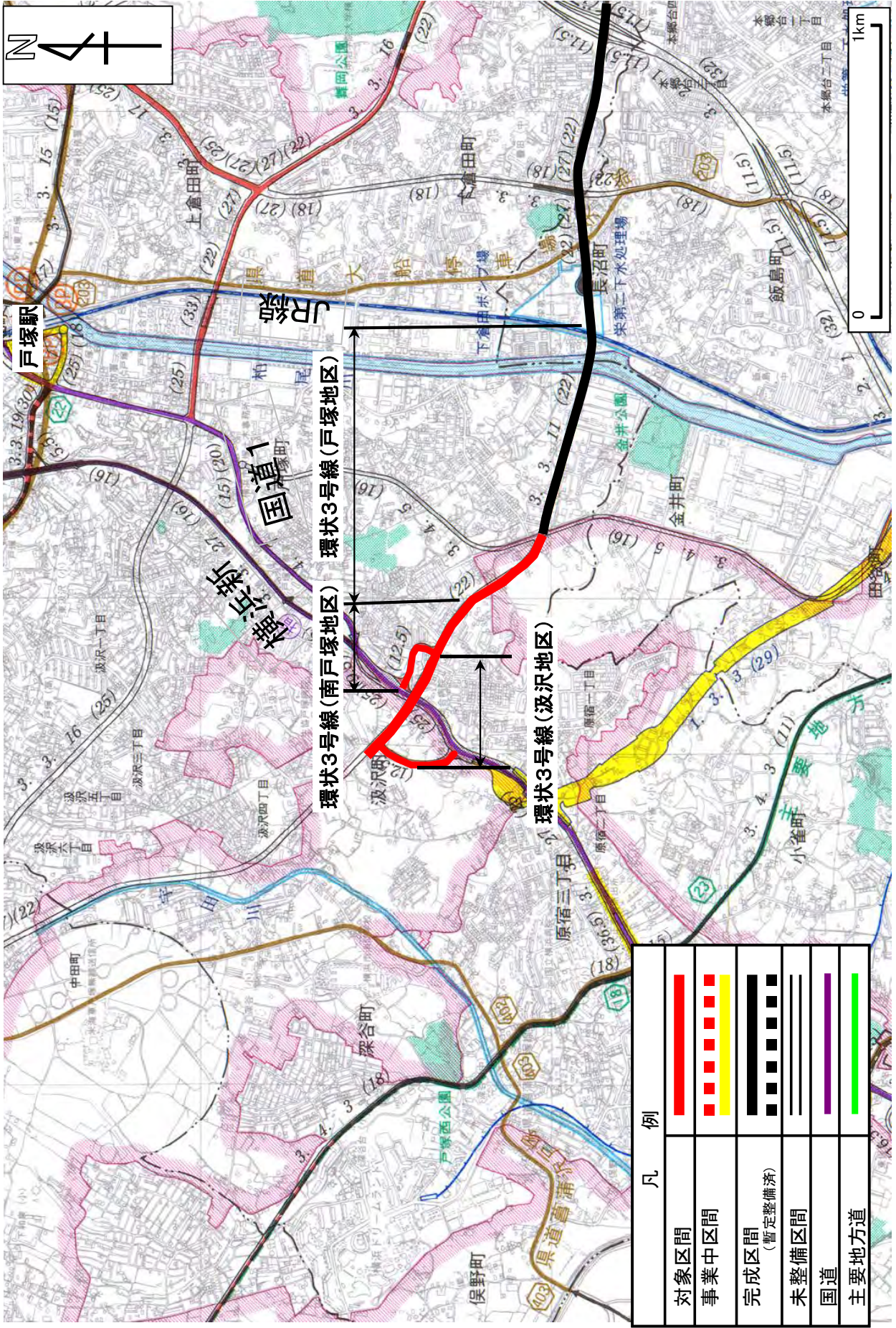
事業の進捗状況	事業進捗率%	平成16年7月に計画延長約2,640mのうち東側区間約850mを開通しています。残す区間においては、現在、鋭意工事を進めています。	
	75%		
	用地取得率%		
	83%		
	供用等の状況		
東側を供用済み			
事業の課題及び進捗見込み	本事業に対して地権者の理解が得られないため、用地交渉が難航しており、事業が遅れていますが、今後は収用を進めながら用地取得を行います。また、用地取得と並行しながら施工可能な部分の工事を進め、特に施工に時間のかかる構造物の築造を行っています。国道1号との接続については、国や警察と協議しながら施工方法を検討して工事を進め、平成29年度に完成する予定です。		
代替案立案等の可能性	—		
その他コスト削減項目等	舗装、構造物の築造については、設計の段階から可能な限りコストの削減に努めます。また、工事施工においても、建設発生土の工事間流用を行い、運搬費及び残土処分費のコスト削減に努めます。		
過去の委員会からの意見等	委員会年度	意見具申等	意見具申等に対する対応状況
	平成15年度	緑化の充実を図るとともに短期で効果的な道路ネットワークを形成すること。	緑化等に配慮しながら道路整備を行い、短期で効果的な道路ネットワーク形成に努力しています。
	平成20年度	特になし	—
その他	—		
対応方針(案)	継続	計画通り(上記計画を実施)※1	
		一部見直し(上記計画を変更)※2	
		【見直し内容】	
中止			

対応方針案とした理由	現在、環状3号線は本市沿岸部から本事業箇所までは、整備が完了していますが、主要道路に接続されていないので、これまでの整備効果が十分に発揮されていない状況です。そこで、本事業の実施により、国道1号に接続されることで、本市南部地域の交通機能が強化され、沿道地域の活性化や物流の円滑化が期待され、また、これまで周辺の住宅地域に入り込んでいた通過交通が環状3号線に転換することで、住宅地域における安全性が高まることから、事業を継続して実施する必要があると判断しております。
------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

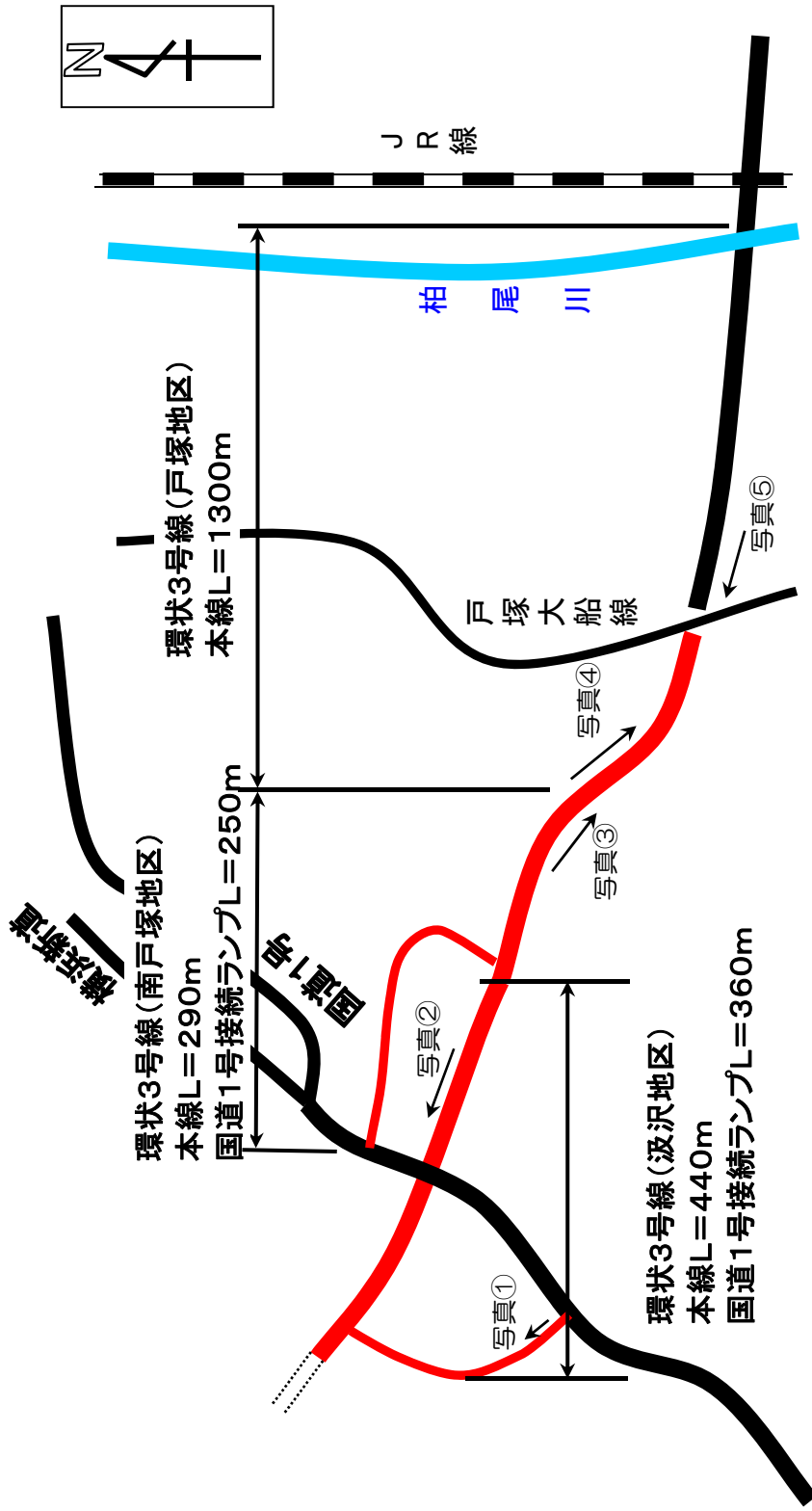
※1:既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

※2:今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。

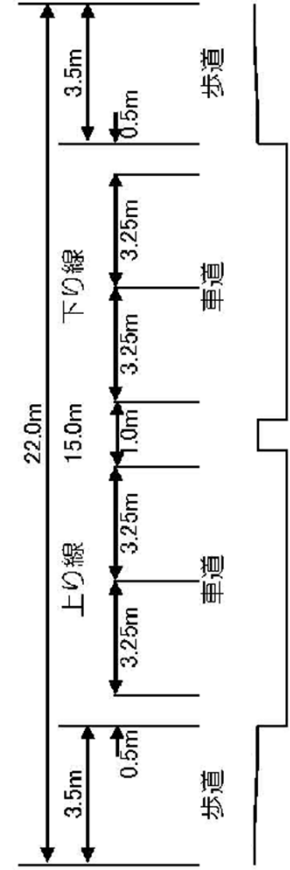
# 都市計画道路環状3号線(南戸塚地区 外2)



# 都市計画道路環状3号線(南戸塚地区 外2)



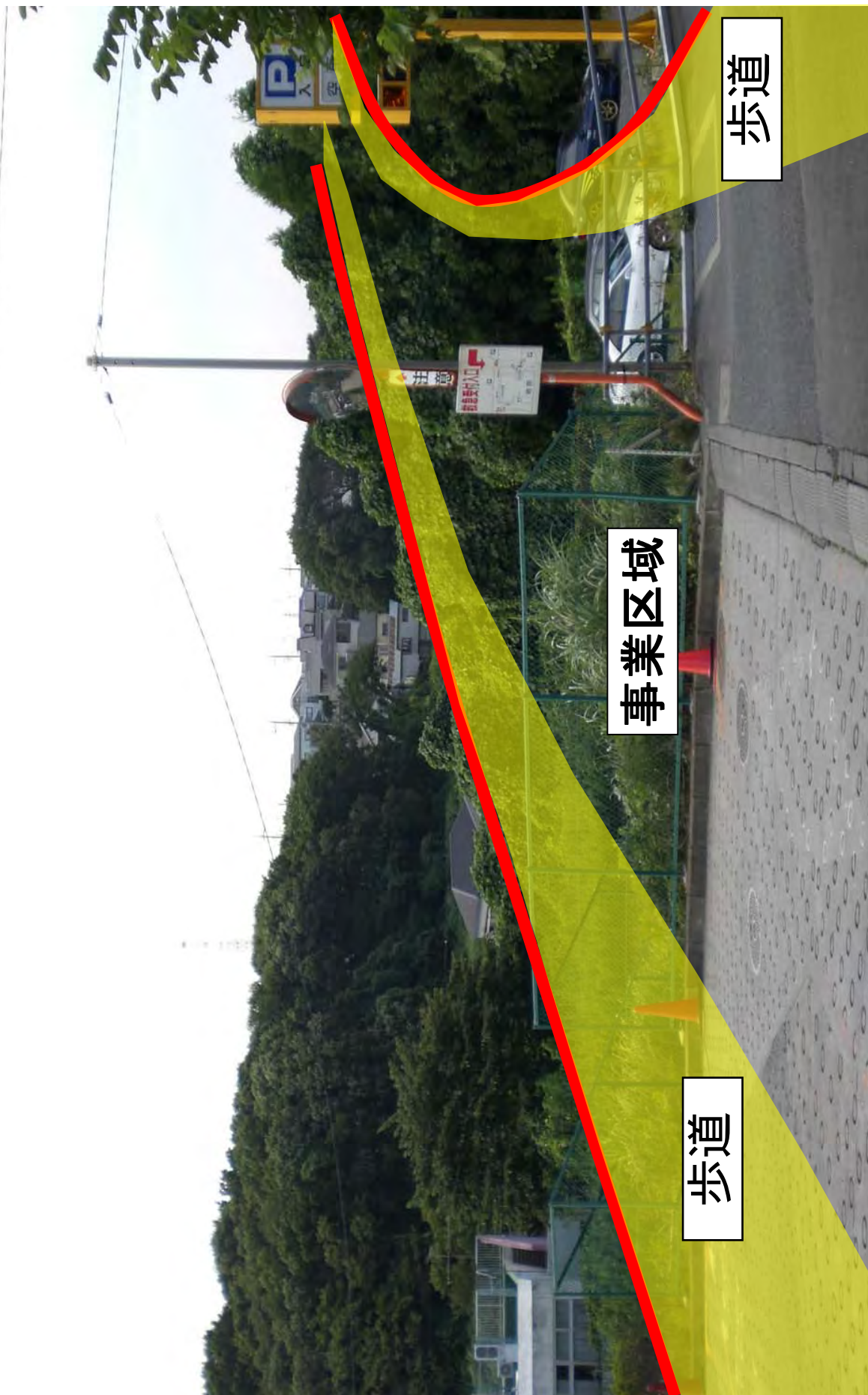
標準部断面図



凡例	
対象区間	
事業中区間	
完成(概成)区間	
未整備区間	

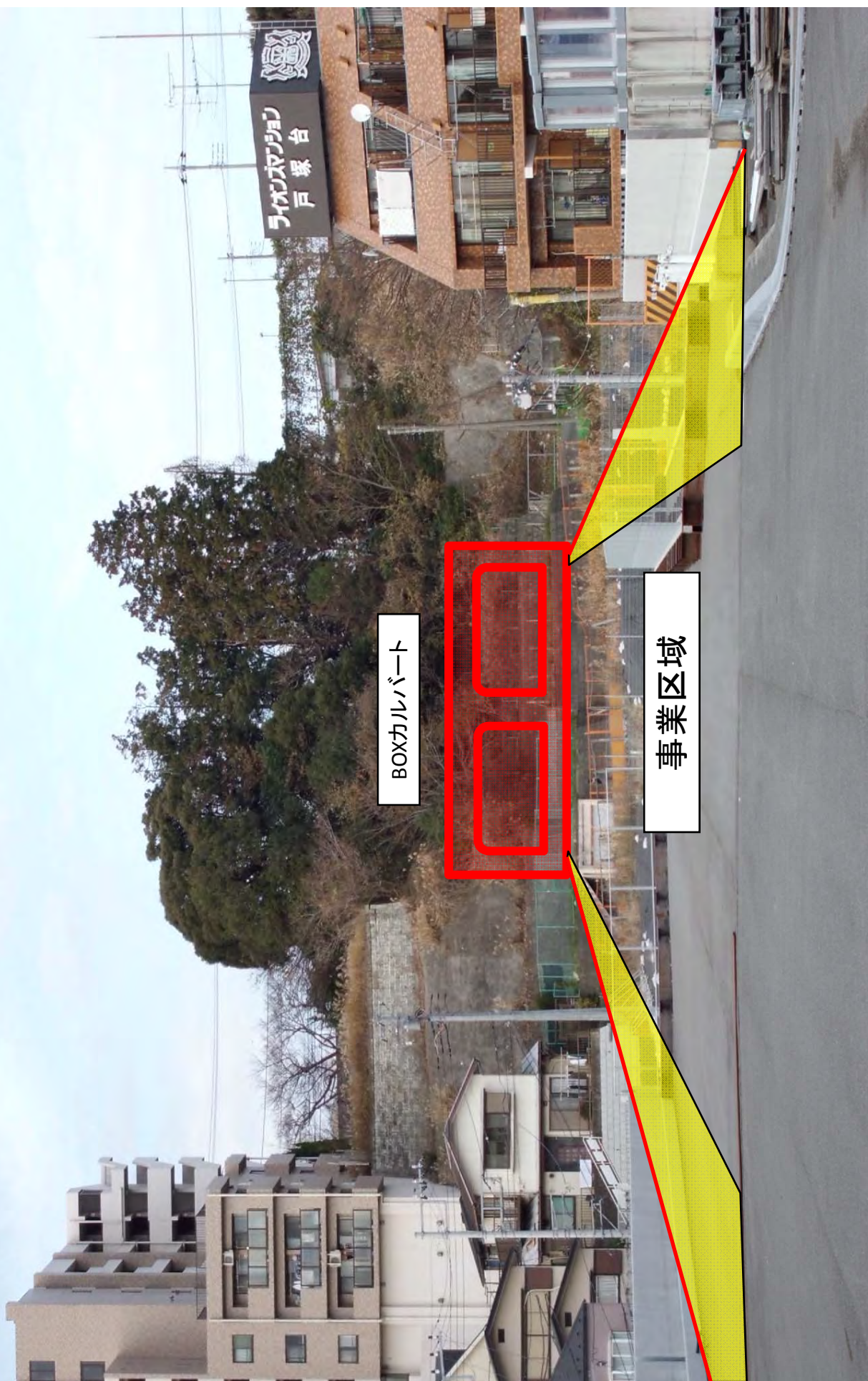
都市計画道路環状3号線（南戸塚地区 外2）

写真



都市計画道路環状3号線(南戸塚地区 外2)

写真②



BOXカルバート

事業区域

写真③

都市計画道路環状3号線（南戸塚地区 外2）

專業区域

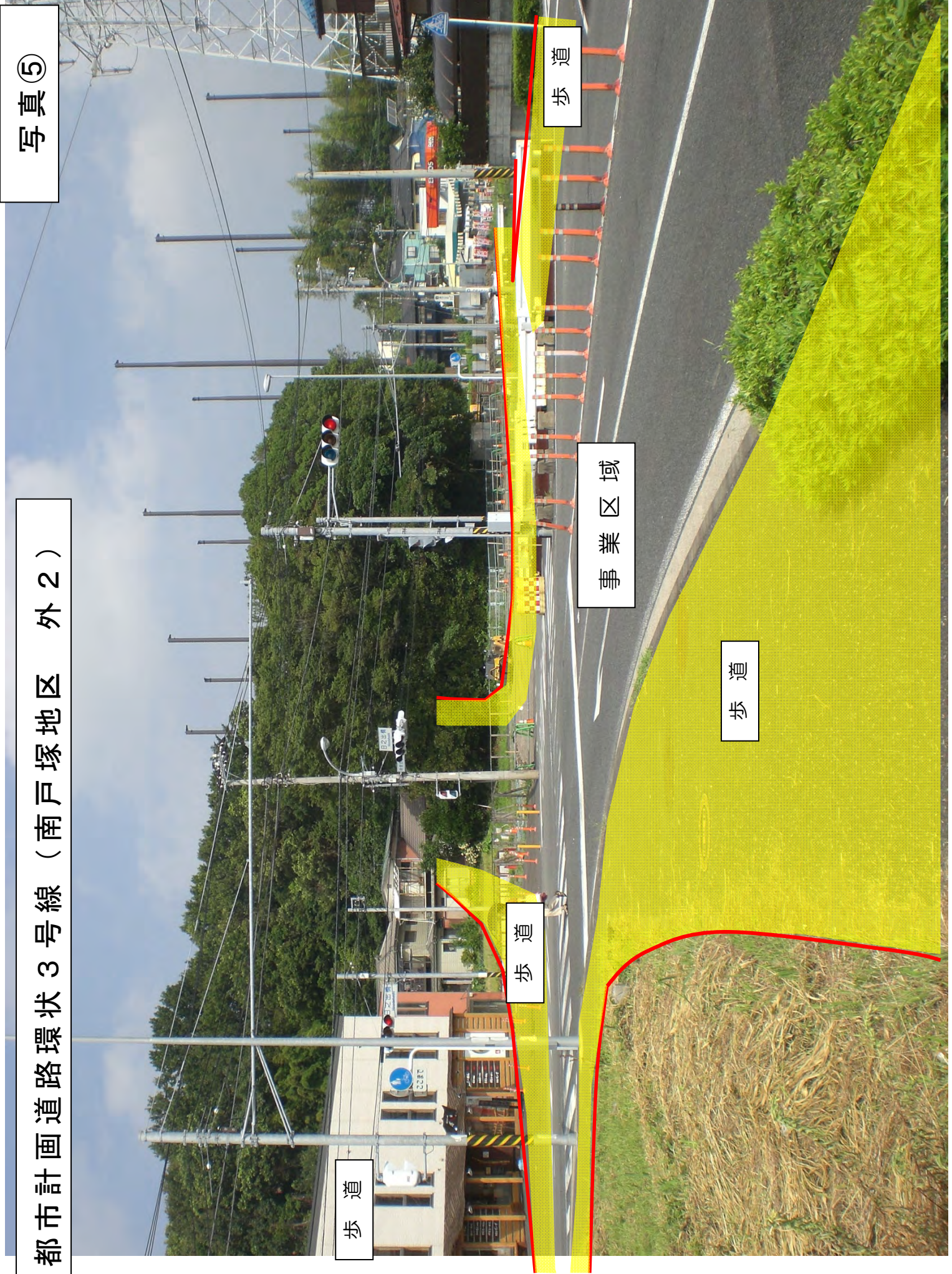


都市計画道路環状3号線（南戸塚地区 外2）





都市計画道路環状3号線（南戸塚地区 外2）



事業進捗状況

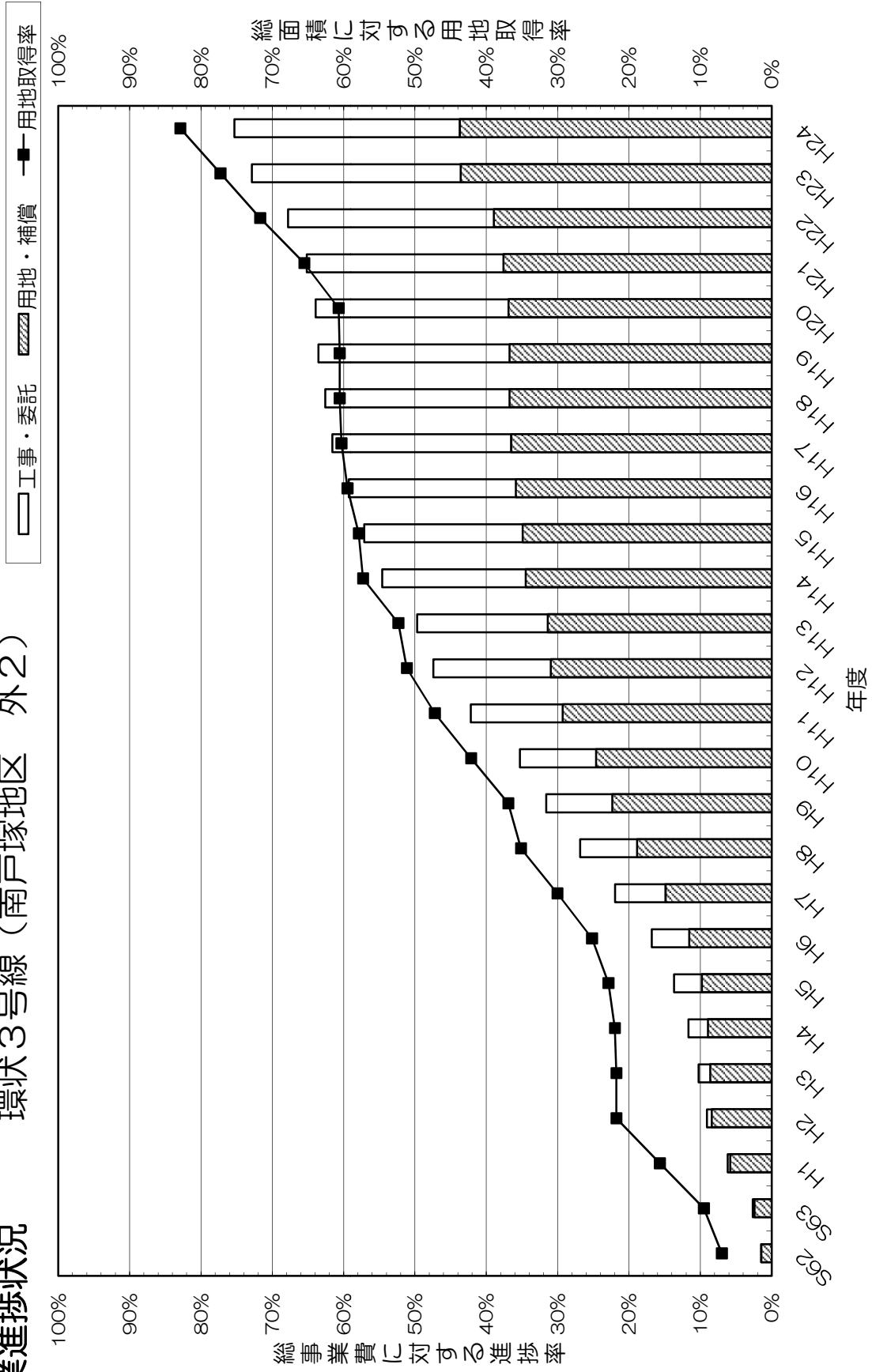
環状3号線（南戸塚地区 外2）

（単位：百万円）

年度	単年度事業費			累計事業費			事業進捗率			用地取得		
	合計	用地・補償	工事・委託	合計	用地・補償	工事・委託	合計	用地・補償	工事・委託	取得面積 (㎡)	累計 (㎡)	用地取得率
S62	390	380	10	390	380	10	1.5%	1.5%	0.0%	4,167	4,167	7.0%
S63	302	256	46	692	636	56	2.7%	2.4%	0.2%	1,499	5,666	9.5%
H1	915	880	35	1,607	1,516	91	6.2%	5.8%	0.3%	3,683	9,349	15.7%
H2	753	677	76	2,360	2,193	167	9.1%	8.4%	0.6%	3,658	13,007	21.8%
H3	307	56	251	2,667	2,249	418	10.3%	8.6%	1.6%	0	13,007	21.8%
H4	365	83	282	3,032	2,332	700	11.7%	9.0%	2.7%	126	13,133	22.0%
H5	530	218	312	3,562	2,550	1,012	13.7%	9.8%	3.9%	518	13,651	22.9%
H6	808	460	348	4,370	3,010	1,360	16.8%	11.6%	5.2%	1,381	15,032	25.2%
H7	1,342	866	476	5,712	3,876	1,836	22.0%	14.9%	7.1%	2,906	17,938	30.1%
H8	1,269	1,036	233	6,981	4,912	2,069	26.8%	18.9%	8.0%	3,054	20,992	35.2%
H9	1,241	906	335	8,222	5,818	2,404	31.6%	22.4%	9.2%	1,055	22,047	36.9%
H10	956	593	363	9,178	6,411	2,767	35.3%	24.6%	10.6%	3,113	25,160	42.2%
H11	1,796	1,216	580	10,974	7,627	3,347	42.2%	29.3%	12.9%	3,016	28,176	47.2%
H12	1,367	430	937	12,341	8,057	4,284	47.4%	31.0%	16.5%	2,367	30,543	51.2%
H13	586	114	472	12,927	8,171	4,756	49.7%	31.4%	18.3%	682	31,225	52.3%
H14	1,272	803	469	14,199	8,974	5,225	54.6%	34.5%	20.1%	2,980	34,205	57.3%
H15	656	112	544	14,855	9,086	5,769	57.1%	34.9%	22.2%	358	34,563	57.9%
H16	563	245	318	15,418	9,331	6,087	59.3%	35.9%	23.4%	927	35,490	59.5%
H17	597	173	424	16,015	9,504	6,511	61.6%	36.5%	25.0%	504	35,994	60.3%
H18	265	58	207	16,280	9,562	6,718	62.6%	36.8%	25.8%	144	36,138	60.5%
H19	244	2	242	16,524	9,564	6,960	63.5%	36.8%	26.8%	0	36,138	60.5%
H20	103	38	65	16,627	9,602	7,025	63.9%	36.9%	27.0%	85	36,223	60.7%
H21	326	181	145	16,953	9,783	7,170	65.2%	37.6%	27.6%	2,892	39,115	65.5%
H22	686	352	334	17,639	10,134	7,504	67.8%	39.0%	28.9%	3,672	42,787	71.7%
H23	1,317	1,213	104	18,956	11,348	7,608	72.9%	43.6%	29.2%	3,322	46,109	77.3%
H24	632	30	602	19,588	11,378	8,210	75.3%	43.7%	31.6%	3,378	49,487	82.9%
合計	19,198	10,998	8,200							45,320		

※1 事業進捗率（合計）は全体事業費（様式3参照）に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和  
 ※2 事業進捗率（用地補償、工事委託）は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合  
 ※3 用地取得率は事業全体の取得面積（様式3参照）に占める各年度までの取得面積の割合

事業進捗状況 環状3号線（南戸塚地区 外2）



前回再評価内容との比較 環状3号線（南戸塚地区 外2）

	前回（H20）	今回（H25）	5年間の経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	現在、磯子区の国道16号から戸塚区戸塚町までの区間が完成しており、沿道に住宅地も多いことから交通量も増えつつあり、環状3号線の南側区間が国道1号と接続するため、本地区の必要性が高まっています。	東日本大震災の発生により、緊急輸送路の整備が急がれており、特に環状3号線の整備により磯子区の国道16号から国道1号までの本市南部地域の交通機能の強化が期待されています。ことから、本事業の必要性が高まっています。	緊急輸送路の整備が急がれており、本市南部地域の交通機能の強化が期待される環状3号線整備の必要性が高まっています。
事業進捗率	70%（64%）	75%	+11%
用地取得率	69%（61%）	83%	+22%
供用等の状況	暫定開通区間約850m	暫定開通区間約850m	—
事業の進捗見込	平成20年度に国道1号との東側ランプに於ける国及び警察との協議が完了したため、今後は未取得用地について収用も視野に入れた交渉を行い、用地取得を積極的に進め、平成24年度に東側ランプまでを部分供用し、国道1号への暫定接続をします。 また、国道1号との立体交差及び西側ランプについても、用地取得と並行しながら施工可能な部分の工事を進め、同一エリアで国道1号と接続する横浜環状南線の完成にあわせ、平成27年度に完成する予定です。	本事業に対して地権者の理解が得られないため、用地交渉が難航しており、事業が遅れています。今後は収用を進めながら用地取得を行います。 また、用地取得と並行しながら施工可能な部分の工事を進め、特に施工に時間のかかる構造物の築造を行っています。 国道1号との接続については、国や警察と協議しながら施工方法を検討して工事を行い、平成29年度に完成する予定です。	戸塚地区において用地買収が進み、これまで困難であったゴルフ場内のボックスカルバート築造が完了しました。引き続き、工事を進めるとともに、交渉が難航している土地については収用を進め、用地取得を行います。

特になし

前回委員会で  
の主な意見等

※前回再評価から全体事業費が変更されている場合、前回時点での事業進捗率が変化してしまうため、参考として新事業費での事業進捗率を（ ）で示した。